

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,105	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素排 換出 算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,105

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス 総 排 出 量	1,232	t-CO ₂	1,226	t-CO ₂	1,188	t-CO ₂	1,106	t-CO ₂	1,105	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			0.5	%	3.6	%	10.2	%	10.3	%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの 排 出 量										
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりの みなし排出量										
削減率（対 基準年度）						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

前年度と比較して大きな変動は見られず、排出量はほぼ横ばいで推移しています。空調、照明、換気等のエネルギー使用において、引き続き効率的な運用が維持されていることに加え、設備の適切な維持管理が行われている結果と考えます。計画書にあげた温室効果ガスの排出の抑制に係る措置は変更なく引き続き継続。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
冷暖房の省資源・省エネルギーの行動実践	効率の良い運転のための、空調機フィルターの清掃 及び、保守点検。	継続する	共用部は年6回、テナント部は年2回のフィルター清掃を実施。
照明の省資源・省エネルギーの行動実践	不必要な照明を消す、時間外の消灯を徹底します。	継続する	オフィス階のエレベーターホールは21時～翌6時、飲食店階の共用部通路は0時～6時30分まで消灯。
その他	夜間・休日など利用者の少ない時は、エレベーターの台数制限にて節電します。	継続する	エレベーター5基の内1基は全日終日運転、4基は平日8～20時・土曜8～18時・日祝運転停止。
ビル全体の空調システムを、セントラル方式から個別空調方式に変更	不在スペース等の人がない場所を冷暖房しない又、こまめな温度管理により省エネをはかる	継続する	オフィス階のお客様へは希望に応じて空調切忘れ防止のOFFスケジュールを組んでいる。
LED照明器具への更新	テナント退去時、貸室内照明器具をLED照明器具へ更新します。	継続する	蛍光灯照明器具の残っているテナント退去時は原状回復工事時にLED照明器具へ更新。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--